

SEI



KA

グループホーム 清華苑
グループホーム 清華苑ポートピア

EN



グループホームとは？

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）とは、認知症疾患を有する高齢者の方が、少人数（9名で1つのグループ）で家庭的な雰囲気の中で、地域と繋がりながら共同生活を送る地域密着型の居住施設です。

清華苑のグループホームでは、食事の支度や掃除、洗濯などの日々の生活に必要な活動を、出来る限りご利用者の皆様に協力して行っていただいております。ご利用者ができないことは、ご状態やペースに合わせてスタッフがお手伝いをさせていただきます。

「地域に根ざし、地域と共につくるケア」を目指し、地域住民の方々と協力し、地域活動や地域行事などに積極的に参加しています。

入所までの流れ

1 ご相談

管理者宛にお電話ください。ご見学を希望される場合は、事前にご連絡下さい。

2 お申込

【提出書類】 利用申込書、情報提供書

* 情報提供書のデータは3か月以内のものに限ります。

3 事前面接

管理者と計画作成担当者が訪問し、ご利用者・ご家族と面接を行います。

4 入所判定

ご利用者の状況や情報提供書の内容を踏まえて検討させていただきます。
入所判定の結果は、面接後1週間以内にご家族にご連絡します。

5 ご入所

職員一同が温かくお迎え致します。
入所当日は、契約手続き等がありますので、ご家族にも来苑頂きます。

利用対象者

1. 年齢

一つめは、原則『年齢が 65 歳以上であること』という条件があります。介護保険法に基づくサービスを提供する事業所として、原則では 65 歳以上、例外として 40 歳～64 歳の特定疾病を原因として要介護認定を受けた人が対象者となります。

2. 要介護度

二つめは、『要支援 2～要介護 5』の要介護認定を受けているという条件があります。介護保険法に基づくサービスを提供する事業所として、要介護認定を受けていることが求められていて、要介護認定を受けていない人や自立、要支援 1 の認定を受けた人は入居できないことになっています。

3. 認知症診断

三つめは、『認知症の診断を受けていること』という条件があります。グループホームは、『認知症』の人に対して特化した介護サービス種別なので、利用するためには医師から認知症の診断を受けていることが必要になります。

4. 住民票

四つめは、原則『グループホームと同じ市町村に住民票があること』という条件があります。グループホームは、住み慣れた地域での生活を継続するための『地域密着型サービス』に分類される事業所です。地域密着型サービスでは、原則、事業所と同じ市町村に住んでいる人を対象としていますが、特例として協議によって別の市町村に住んでいる人も対象になることがあります。

5. 心身状態

五つめは、心身のご状態がある程度安定しており、共同生活を送る上で支障がない方。

グループホーム 清華苑

- 【住所】 〒674-0064 明石市大久保町江井島1648-5
【電話番号】 078-937-8470
- 【開設年月日】 平成17年5月15日
【建物構造】 地上階4階
鉄筋コンクリート造り4階建ての2～4階部分
- 【入所定員】 18名
【居室】 1人部屋 18室
【居室面積】 10.32㎡
【共有設備】 リビング、浴室、トイレ、洗面台、屋上庭園、エントランス





グループホーム 清華苑ポートピア

【住所】 〒674-0051 明石市大久保町大窪544-1

【電話番号】 078-934-3800

【開設年月日】 平成22年10月1日

【建物構造】 地上階4階

鉄筋コンクリート造り4階建ての3～4階部分

【併設】 小規模多機能型居宅介護 大久保苑（1～2階部分）

【入所定員】 18名

【居室】 1人部屋 18室

【居室面積】 9.63㎡～11.29㎡

【共有設備】 リビング、浴室、トイレ、洗面台、エントランス、屋上







スタッフコラム

ご利用者の笑顔のために

グループホームは、1フロア9人のご利用者が共同生活を送られています。ご利用者同士、ご利用者と職員が顔馴染みの関係を築き、家庭的な生活環境の中で家事全般等を協力して行います。そうすると、お互いを認識し、理解し合える関係が築きやすくなります。つまり、生活そのものが認知症の進行予防に繋がります。

グループホーム 清華苑で働く私達は、ご利用者一人一人にゆつくりと関わり、寄り添い、時にはそっと見守る。そして楽しい時間を共有していきたいと考えています。

ご利用者それぞれ、過去の生活の

背景や価値観などは当然違います。ご利用者の思いを受け入れ、喜怒哀楽も含め、人間らしく生活出来るよう支援させていただきます

慣れ親しんだ環境で長く生活をされていても、加齢に伴い認知症が徐々に進行し、できる事が少なくなる場合もあります。それでも、何か一つ楽しみを持つ事、その方に役割を持つて頂く事は、とても重要であると感じています。

私達職員の合い言葉は、

「ご利用者の笑顔の為に！」

チームとして協同し、時には法人内他施設と連携し、ご利用者の生活とご家族の安心を支えています。



※以下文中で紹介されているご利用者と写真に写られているご利用者は別の方で関係はありません。

スタッフコラム

続けることの大切さ

ご利用者K様を担当させて頂いた時のお話です。

認知症の症状として、よく見られる短期記憶障害、新しいことを覚えることが難しいのが現状です。しかし、生活のお手伝いをさせて頂き、担当者の名前を覚えてもらいたい、やりたい事、思っている事を伝えてもらえる存在でありたいと強く思いました。

K様に

「おはようございます。」

と挨拶をすると

「おはようございます。見たことない顔やね。」

と声を掛けてもらうことがほとんどでした。

「私、K様の担当させて頂いているAです。」

と伝えると、

「いや、ほんとごめん。忘れてもてる。」

とおっしゃられました。

私は、K様に

「忘れる事もありますね。私もよく忘れてしまうことがあります。一緒にすね。」

と忘れてしまったことを気にされないよう声を掛けました。私は、諦めず毎日が「初めまして。」の挨拶を続けました。それから、1年が経ちました。

今では、

「K様おはようございます。私のこと覚えてますか？」

と伺うと

「Aさん！」

と名前を呼んで下さる事が増え、

「もう覚えてるよ。だって、私あなた好きやから。」

と仰って下さり、他の職員からも

「K様、なかなか名前を覚える事が出来なかったのに凄いね！」

と言って貰え、本当に嬉しかったです。



※以下文中に紹介されているご利用者と写真に写られているご利用者は別の方で関係はありません。

スタッフコラム

主婦の大先輩から学ぶ

グループホーム 清華苑ポートピアでは、80歳過ぎても家事手伝いを難なくこなせる主婦の大先輩達が暮らされています。

脱いだ衣服はちゃんと裏返して洗濯へ出す。干すときはパンパンと手で叩きしわを伸ばしてから、縫い目に合わせてタコの足にきちんと掛ける。

調理では、包丁を持つと、菜っ葉を切る時は、芯まで無駄にしないような切り方をされたり、少々太目ではありますが、危なげなく干切りもできます。また、味見をしていたく、「ちよつと塩辛いな」と顔をしかめて評価をいただき、調味しなおすと「おいしいよ」としわを深めてにつこりと笑ってくださいます。

お裁縫をお願いすると、難なく針穴に糸を通され手際よく縫物にあつた縫い方をされ、なおかつ縫い目がきれいにそろっています。まるで沢山の熟練のお姑さんと暮らしているかのように感じる毎日です。

「明日Aさんにこのやり方を教えていただく」と考えていた時は、あつ、母親との関りと一緒だ・・とフツとほが緩む時があります。

何もかも便利な時代ですが、昔ならではの暮らしの知恵というものを大切に受け継いでいきたいですね





※以下文中に紹介されているご利用者と写真に写られているご利用者は別の方で関係はありません。

スタッフコラム

想いに耳を傾けて

女性ご利用者のMさんがグループホームへ入所されたのは89歳の時でした。普段からご自分のお部屋で過ごされる事が多く、とても無口な方でした。

ある日の事、Mさんの入浴介助をしていると、Mさんは、自分の履いている紙パンツをじつと眺めて、小さな声で：

「これ汚れたらすぐ替えられるし、皆も同じこのパンツ履いているの？」

「これ赤ちゃんと一緒のパンツね…格好悪いね…」

とそうつぶやかれました。その表情はとても悲しげで寂しそうです。

Mさんがその思いを打ち明けてくれた時、私には出来る事は何だろうかと考えました。

私はMさんの理想のパンツへ向けて、各職員へ意見を求めました。

意見は賛否あり「紙パンツの方が安心ではないか」と心配する声もありましたが、先輩職員からの「Mさんの気持ちを考えて布パンツでやってみましょう」と背中を押して頂きました。

早速、新たに購入した布パンツを手にしたMさんは、大きく広げて、「ええわ〜レース付きやね、見てみて〜赤ちゃんと違うね〜大人やね〜」

とキラキラと目を輝かせて、とても喜んで下さりました。それからのMさんは表情も明るく、皆が集まるホールで過ごすことが多くなり、とても活動的に過ごされました。

ご利用者一人一人の想いに耳を傾けて、その方にとって本当に価値あるサービスを提供して行きたいと思っています。



※屋上菜園は、グループホーム清華苑のみにございます。

菜園がある暮らし

グループホーム 清華苑の4階屋上には、屋上菜園があります。一歩踏み出すと、目の前にはノウゼンカズラのアーチがお出迎え。ガーデンの中央には木製のテーブルとベンチがあり、お天気の良い日は日光浴を楽しんでいただく事が出来ます。

ご利用者の手で植えられた四季折々の花々、手入れを欠かさず育てた旬の野菜、どこを見渡しても花や野菜たちが顔を見せています。

ご利用者の皆様もこの菜園が大好きです。「元気に育ってくれてありがとう」と毎日水やりをしながらお声をかけておられます。もちろん収穫した野菜は美味しく、みんなで調理しておいしくいただけます。





みんなで料理

ご利用者と職員が一緒に料理作りを行っています。ご自身の能力を活かす目的もありますが、料理作りを通して、日々の楽しみの一つになるよう工夫を凝らしています。

献立はご利用者のリクエストを受けて一緒に考えます。魚が好きな方はシーフードカレー、晩酌好きな方は餃子など、皆さんと話し合いながら献立を考えるのも楽しい時間です。

調理をしている時は、「いい匂いがしてきたね」「食べるのが楽しみやね」と毎回賑やかな時間となります。

ご利用者、職員と一緒に家事を行うのは、グループホームならではの特徴です。アットホームな雰囲気、毎日の食を通じて楽しんでいただけるよう取り組んでいます。





よくある質問

□入所するには準備金が必要ですか？

→ 入所時に入居保障金（家賃3か月分）が必要です。

※グループホーム 清華苑の入居保証金は、189,000 円です。

※グループホーム 清華苑ポートピアの入居保証金は、198,000 円です。

□健康管理の方法は？

→ かかりつけ医がおられる場合には、当該病院を引き続き通院して頂いても構いません。かかりつけ医がおられない場合には、管理者にご相談ください。

□入浴は週何回実施ですか？

→ 入浴は、週2～3回実施しています。体調不良により入浴が出来なかった場合は、蒸しタオルで身体を清拭させて頂くなど対応致します。

□オムツ代は、いくらですか？

→ オムツ・パット類の費用は、利用料金に含まれておらず自己負担となります。

□居室に持ち込めないものはありますか？

→ はさみやナイフなどの刃物類、ライターなど火を取り扱うものは、持ち込めません。食物は、賞味期限の管理などもあり施設管理とさせていただきます。

社会福祉法人 三幸福社会の経営理念

【経営理念】

- ・利用者の皆様とのご縁を大切に、利用される方にとって価値あるサービスを提供します。
- ・提供するサービスは、自然で心暖かいものをめざします。
- ・サービスを通して、地域に信頼と安心をお届けします。

【運営方針】

- ・三幸福社会では、地域の利用者の方々との出会いを大切に、「ここへ来れば安心だ」と思っただけのような施設をめざしています。
- ・私達の提供するの「生きていてよかった」とほんの一瞬でも頬を緩めていただけるようなサービスです。
- ・そのサービスは、「ごく当たり前のことをごく当たり前に」提供することです。決して「いんぎんな」ものでも、「ぞんざいな」ものでも、「なれなれしい」ものでもありません。一人ひとりの職員の心暖かい気持ちを表現したものです。
- ・利用者が困っておられるときには、素速く対応し、利用者が希望されないことは押しつけません。 その方にとっての「普通の生活」を実現しようと努力し、地域に信頼と安心をお届けするのが私達のサービスです





社会福祉法人 三幸福社会

清華苑

miyukifukushikai seikaen